

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 27 日現在

機関番号：33919

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2008～2012

課題番号：20500853

研究課題名 (和文) ユビキタス映像視聴システムを活用した授業の多元的記録・分析・構成方法

研究課題名 (英文) Research on plural record, analysis, and configuration type of class Using a Ubiquitous Class Video Viewing System

研究代表者

平山 勉 (HIRAYAMA TSUTOMU)

名城大学・教職センター・准教授

研究者番号：50250866

研究分野：複合領域

科研費の分科・細目：科学教育・教育工学

キーワード：授業研究、教師教育、ネットワーク、教育実習生、ユビキタス映像記録視聴システム

1. 研究計画の概要

本研究は、パソコンとブロードバンド環境の枠を超える「携帯デバイスを活用したユビキタス映像記録視聴システム」の改善を行い、リアルタイムに授業収録を行い、Webベースで参照可能 (Low bitrate) な形に自動生成し、データベース化するとともに、それらを、ビデオ・オン・デマンドや携帯デバイスで学習できるシステムの構築を目指している。

2. 研究の進捗状況

2010年度は、研究協力校におけるパイロット配信用の授業映像記録の収集を行った。具体的には、2011年11月24日に名城大学附属高等学校における竹内英人准教授 (研究分担者) の高大連携の出前授業を附属高等との連携によりマルチアングルで撮影を行い、ユビキタス映像記録視聴システムで配信し、個々の学生の視聴後の感想、意見を収集した。さらに、教職課程履修生の授業実践能力の育成につながると予想される映像記録を収録し、パイロット配信を行った。具体的には、本学の卒業生を招聘して、現場のことを講演してもらうことが主である「名城大学教職実践報告会」(2010年10月16日)、愛知県総合教育センターとの協力を得て「名城大学教職センターシンポジウム」(2011年1月9日)、愛知県総合教育センター及び愛知教育大学との連携で実施する実験に精通した理科教員の養成を目指す「CST 関連の特別授業」等をユビキタス映像記録視聴システムで配信するために収録した。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

研究協力校及び愛知県総合教育センターとの研究協力等、順調に進んでいる。とりわけ、一連の研究を受け、2010年度より「愛知県総合教育センター・大学共同研究委員会」委員として、愛知県教育委員会との共同研究を推進することで進行している。さらに、成果の一部をネットで専用サイトにて公開することに取り組んでいる。

4. 今後の研究の推進方策

研究の仕上げとして、実際にユビキタス映像記録視聴システムを活用して全国で教諭になった卒業生の授業を在学生に配信し、授業実践能力を高めること、二つ目に「愛知県総合教育センター・大学共同研究委員会」委員として、愛知県の初任者教員の実践的能力の育成に資すること、三つ目として、それらの成果をネットの専用サイト「<http://www.jugyou.jp/>」のコンテンツの整備及びSNSを活用しての配信等を推進していきたいと考えている。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計3件)

- ① 平山勉、後藤明史、竹内英人、ユビキタス映像記録視聴システムを活用した授業能力育成支援の試み、日本教育工学会研究報告集 JSET、11-1、9-16、2011、査読無
- ② 平山勉、浅井厚視、新学習指導要領で求められる学力、指導方法、現職研修の在り方に関する研究、名城大学教職センター紀要、7、47-59、2010、査読無

- ③ 平山勉、教育実習生の「授業力」育成に関する一考察、名城大学教職センター紀要、6、59-64、2009、査読無

〔学会発表〕（計2件）

- ① 平山勉、後藤明史、竹内英人、ユビキタス映像記録視聴システムを活用した教職課程履修生の授業実践能力育成支援の試み、日本教育方法学会、2010年10月10日、国土館大学
- ② 平山勉、後藤明史、竹内英人、ユビキタス映像記録視聴システムを活用した教育実習生の授業実践能力育成支援の試みⅡ、日本教育方法学会、2009年9月27日（日）、香川大学